# VIPO 年間活動報告書 2011

2011.4.1 → 2012.3.31

**特定非営利活動法人（NPO法人）映像産業振興機構**
〒104-0045　東京都中央区築地 4-1-1　東劇ビル 8F
TEL : 03-3543-7531　FAX : 03-3543-7533
URL : http://www.vipo.or.jp/

**京都事務所**
〒616-8167　京都府京都市右京区太秦多藪町 45-19 ヤマモトビル 2F
TEL&FAX : 075-432-7340

編集・発行 : NPO 法人 映像産業振興機構　2012 日 6 月 1 日発行

Visual Industry Promotion Organization
NPO法人 映像産業振興機構

C O N T E N T S


2　目次
平成 23 年度事業報告

2-3　人材育成
ndjc : 若手映画作家育成プロジェクト
メディア・映像業界就職セミナー
VIPO 人材育成基盤プログラム
AFI (American Film Institute) への留学推薦者の斡旋

4-5　市場開拓
コ・フェスタ（JAPAN 国際コンテンツフェスティバル）
こどもコ・フェスタ
日中映像交流事業
コンテンツ・ポータルサイト運営協議会
Asia Content & Entertainment Fair (ACE Fair) での広報活動
韓国コンテンツ振興団体光州情報・文化産業振興院 (GITCT) と業務提携

6　京都
コンテンツ産業都市・京都発信事業
京都映画・映像企画市
京都太秦クリエーター支援拠点 (UZU)
VIPO 京都フィルムコミッション推進事業

7　平成 23 年度総会・理事会・幹事理事会
平成 23 年度政策検討委員会
VIPO 会員社


## 平成23年度事業報告（平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで）

### 事業の経過

平成 23 年度の通常総会（6 月 27 日開催）で承認された、今年度の事業計画書、会計収支予算書に基づき、人材育成支援、内外の市場開拓等に関する事業を実施した。具体的には、今年 5 年目となるコ・フェスタ（JAPAN 国際コンテンツフェスティバル）の運営や、若手映画作家の育成を目指す「若手映画作家育成プロジェクト (ndjc2011)」、コンテンツ産業を目指す学生のための就職セミナー等を、関係省庁、団体、教育機関と連携し取り組んだ。

### 主な事業の実施状況（※項目抜粋）

（1）人材育成事業
① 短編映画作品製作による若手映画作家の育成
② コンテンツ産業を目指す学生に対しての就職セミナーの実施
③ 人材育成基盤セミナーの実施

（2）国内・国際市場整備
① コ・フェスタ（JAPAN 国際コンテンツフェスティバル）
ネットワーク構築事業
平成 23 年度「コンテンツ産業強化対策支援事業」
② 日中映像交流事業「日本アニメ・フェスティバル in 上海」ほか
平成 23 年度「コンテンツ産業強化対策支援事業」
③ コンテンツポータルサイトの運営
④ コンテンツ産業都市・京都発信事業

（3）海外の同様の機関との連携・交流に係る事業
① 韓国 KOCCA との業務提携
② GITCT との業務提携

（4）その他の事業
① AFI への留学斡旋の実施
② ACE FAIR における広報活動
③ VIPO ホームページの運営
④「VIPO 事業概要」の会員部分改訂版の制作

（5）組織運営
① 京都事業
② 会員
③ 総会、理事会、幹事理事会の開催
④ 政策検討委員会　本会、各分科会



# 人 材 育 成

## ndjc：若手映画作家育成プロジェクト

このプロジェクトは、文化庁の委託を受けて 2006 年度よりスタートしたもので、優れた若手映画作家を対象に、本格的な映像制作技術と作家性を磨くために必要な知識や技術を継承するためのワークショップや製作実地研修を実施すると同時に、作品発表の場を提供することで、次代を担う長編映画監督の発掘と育成を目指している。

今年度は、応募者の中から 15 作家がワークショップに参加。さらにその中から 5 作家が、最終課題である製作実地研修に参加し、シナリオ開発や 35 ミリフィルムでの撮影を必須とした短編映画制作を行った。その後各地で完成作品の合評上映会を開催し、多方面の方々から講評をいただいた。これまでに完成した作品と併せて、今後も引き続き発表機会を提供していく。

■ndjc2011 製作実地研修参加作家と完成作品

中江和仁『パーマネント ランド』

七字幸久『ここにいる…』

藤澤浩和『嘘々実実』

谷本佳織『あかり』

やましたつぼみ『UTAGE』

### 【ndjc2011 実施概要】

●**作家の公募**　5 月 23 日（月）～7 月 1 日（金）
すでに相応の映像製作実績と評価を有する若手映画作家を対象に、映画関係団体等からの推薦を受付

●**ワークショップ**　7 月 30 日（土）～ 8 月 14 日（日）
一定の条件の下で、共通のテーマに沿った完成尺 5 分以内の作品を制作

●**製作実地研修**　9 月～ 1 月
35 ミリフィルム撮影による 25 分以上 30 分以内の劇映画作品を制作

●**合評上映会・講評会**　2 月～ 3 月
2 月 14 日（火）　東京会場（TOHOシネマズ 六本木ヒルズ）
2 月 16 日（木）　京都会場（東映京都撮影所第一試写室）
2 月 17 日（金）　大阪会場（シネ･ヌーヴォ）
2 月 25 日（土）　合評上映会特別上映（ユナイテッド・シネマ豊洲）
～ 3 月 2 日（金）＜入場料金 1,000 円での特別興行＞
3 月 8 日（木）　沖縄会場（桜坂劇場）
3 月 26 日（月）　仙台会場（せんだいメディアテーク）

### トピックス

●ndjc2007 製作実地研修参加作家の平林勇監督の短編作品『663114』が第 62 回ベルリン国際映画祭 14 ～ 17 歳向け映画部門特別表彰を受賞
●ndjc2010 製作実地研修参加作家の藤村享平監督がデジタルシネマ製作支援プログラム〈D-MAP〉の監督に選出、初の劇場公開長編作品『バルーンリレー』が順次公開
●合評上映会として初の試みである劇場での特別興行を実施

## メディア・映像業界就職セミナー

自主事業として、毎年実施している「メディア・映像業界就職セミナー」も回を重ね 6 回目となった。毎年規模の拡大、新たな取組みにチャレンジし今年度は東京だけでなく関西（大阪）、東北（仙台）でも開催。セミナーへのエントリー数、参加学生数とも前年度の160%と大幅に増加した。さらに新たな取組みとしてUSTREAM（ユーストリーム）での配信を実施し、多くの学生に視聴された。セミナーアンケートも WEB での実施を導入し、回答率及び精度が大幅にアップしたことにより、参加企業様からも高評価をいただいた。

### 【セミナー実施概要】

●**東京**
開催日：2011 年 12 月 3 日、4 日、11 日
会場：文京学院大学
参加企業数：27 社
参加学生数：5,800 名

●**大阪**
開催日：2011 年 12 月 22 日
会場：大阪大学
参加企業数：7 社
参加学生数：350 名

●**仙台**
開催日：2012 年 1 月 21 日
会場：仙台市情報・産業プラザ
参加企業数：7 社
参加学生数：180 名

## VIPO 人材育成基盤プログラム

2009 年度より実施しているシナリオアナリスト養成セミナーと、昨年度より実施のキャラクターメイキング&アナリスト養成セミナーに続いて、今年度は「ミザンセーヌ向上のための基礎講座～デジタル時代のミザンセーヌ～」を開催した。事前申込者が多数のため、途中で申込みを打ち切る必要が出るほどの大変好評なセミナーとなった。

**開催日**：2012 年 3 月 29 日
**会　場**：銀座フェニックスプラザ
**参加者**：68 名

## AFI (American Film Institute) への留学推薦者の斡旋

2011 年 5 月 27 日、青山学院アスタジオにて「AFI コンサバトリミニ上映会 2011/ 日本人 Alumni による帰国報告」を開催。本会では当機構から推薦し AFI コンサバトリを修了された木野下有市氏を迎え、同氏の卒業製作作品「Save a Life」を上映、さらに、同作の主演俳優の北村昭博氏を交えて、メイキング映像上映と AFI での生活の報告が行われた。また、当機構のホームページに AFI 紹介ページ「AFI.com×VIPO」を掲載し、AFI への留学斡旋事業について、より多くの方への周知に努めた。今年度も AFI Conservatory 留学推薦者募集を行い、映像業界経験者 3 名が応募、2 名を推薦した。

2011 年 5 月 27 日「AFI コンサバトリミニ上映会」

# 市 場 開 拓

## コ・フェスタ（JAPAN 国際コンテンツフェスティバル）

経済産業省受託事業「コ・フェスタ（JAPAN 国際コンテンツフェスティバル）」は、日本が誇るゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画といったコンテンツ産業およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業に関わる各種イベントが連携して開催する世界最大規模の統合的コンテンツフェスティバルであり、VIPO は 2007 年度よりその実行本部を運営している。5 年目を迎えた今年度は、東日本大震災の被災地と向き合う取り組みも実施し、こどもの夢がさらに育つようなコンテンツを通して未来への新しい期待を感じてもらう機会を提供した。

CoFesta 2011

コ･フェスタオフィシャルサイト
http://www.cofesta.jp/

### オフィシャルイベント

| | |
|---|---|
| 東京ゲームショウ 2011 | 9/15（木）～ 9/18（日） |
| 日本ゲーム大賞 2011 | 9/15（木）～ 9/18（日） |
| KYOTO CMEX 2011 | 10 / 1（土）～ 11/27（日） |
| CEATEC JAPAN 2011 | 10 / 4（火）～ 10 / 8（土） |
| Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO | 10/16（日）～ 10/22（土） |
| 大阪創造取引所 2011 | 10/18（火）～ 10/19（水） |
| 第 28 回 ATP 賞テレビグランプリ 2011 | 10/20（木） |
| デジタルコンテンツ EXPO 2011 | 10/20（木）～ 10/22（土） |
| 第 38 回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール | 10/20（木）～ 10/27（木） |
| 第 24 回東京国際映画祭 | 10/22（土）～ 10/30（日） |
| 第 8 回文化庁映画週間 －Here & There- | 10/22（土）～ 10/29（土） |
| 国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2011 | 10/24（月）～ 10/25（火） |
| TIFFCOM 2011 Marketplace for Film & TV in Asia | 10/24（月）～ 10/26（水） |
| 第 8 回東京国際ミュージックマーケット（TIMM） | 10/24（月）～ 10/27（木） |
| Creative Market Tokyo 2011 -Brand,Entertainment Contents / Trade & Licence | 10/26（水）～ 10/28（金） |
| 東京国際アニメ祭 2011 秋 | 10/27（木）～ 10/28（金） |
| Inter BEE 2011 | 11/16（水）～ 11/18（金） |
| コミック フェスティバル in 東北 ～コミック出版社 東北応援プロジェクト～ | 11 月～ 2012 年 1 月 |

### グランドセレモニー

**日程**：2011 年 9 月 13 日（火）
**場所**：東京會舘
**内容**：国内外のコンテンツ業界関係者、政府関係者、クリエイター、各種メディアが一堂に会し交流を深めた。

## こどもコ・フェスタ映像制作・発表事業

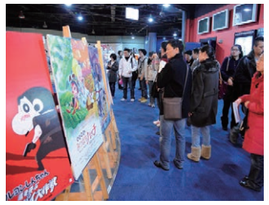
**会期**：2011 年 11 月 11 日（金）～2012 年 3 月 31 日（土）
**会場（映像発表）**：ウェブサイト、ソーシャルメディア及び TV
**内容**：コンテンツ産業に係る国内外市場拡大・新しい人材育成のため、将来のコンテンツ産業の担い手であり、未来のコンテンツの制作を担うクリエイター候補でもあるこども達と共に、東日本大震災と向き合う取り組み、「こどもコ･フェスタ」を実施。東日本大震災による被災地のこども達 100 人がそれぞれビデオカメラを使用し、『今、自分が最も伝えたいこと』をテーマに約 3 分間の映像制作。それら 100 の作品をウェブサイト及びソーシャルメディア等を活用し、国内外へ発信した。

## こどもコ・フェスタ in 東北

**日程**：2011 年 11 月 11 日（金）～2012 年 3 月 31 日（土）
**会場**：七ヶ浜国際村（宮城県宮城郡七ヶ浜町）
**内容**：宮沢賢治作品朗読、アニメ制作やゲーム制作体験などのワークショップやアニメ上映、まんが原画展、音楽ライブなど、コ･フェスタならではの多様性に富んだイベント。東日本大震災における被災地のこども達（小学 4、5、6 年生及び保護者約 900 名）をお招きし、こども達の春休み期間中に開催、日本を代表する素晴らしいコンテンツと出会う機会を創出し、日本の優れたクリエイターが未来に向かって育っていくように、こども達と一緒に創造の楽しさ、素晴らしさを共感してもらう事を目的とした。

## 日中映像交流事業「日本アニメ・フェスティバル in 上海」

日中国交正常化 40 周年を翌年に控えた 2011 年、VIPO は日中映像交流事業（「映画、テレビ週間」「日本アニメ・フェスティバル in 上海」）を受託事業として行なった。2010 年温家宝首相が来日した際に鳩山首相（当時）との合意に基づき事業を構築し実施した。（2010 年 6 月の開幕式～「映画、テレビ週間」、11 月から 12 月の「日本アニメ・フェスティバル in 上海」）経済産業省、文化庁からの受託事業として実施した「日本アニメ・フェスティバル in 上海」ではアニソン・コンサート、アニメ文化交流会及びアニメ上映会を開催、日本のアニメ・コンテンツ・パワーを中国国内に示すこととなり、日中両国民の相互理解に繋がるような事業となった。



## コンテンツ・ポータルサイト運営協議会

VIPO は、本運営協議会から委託を受け、運営事務局を担当している。本サイトは、日本のコンテンツ情報を国内外に発信する WEB サイトとして 2007 年 6 月に開設された。2011 年 3 月に本サイトを全面刷新し、英語による海外向け情報発信サイトとすることにより、テレビ番組のランキング情報、会員各社のニュース・トピックを発信した。また、月に数回、海外コンテンツ事業者へのニューズレター（国内のコンテンツ関連イベント情報、会員各社のトピック紹介等）を配信した。

コンテンツ・ポータルサイト「Japan Content Showcase」
http://www.japancontent.jp/

## 日中映像交流事業「日本アニメ・フェスティバル in 北京」

上海と同様に 2011年 11 月～ 12 月にかけて、「日本アニメ・フェスティバル in 北京」が実施され、当機構は国際交流基金からアニメ上映事業を受託。外務省ならびに在中国日本国大使館の協力のもと、上映を実施。連日満席になる作品もあり、潜在する熱狂的な日本アニメファンの存在を、改めて実感した。また中国企業から日本サイド数社へ、12 月上映作品のオファーの話が、具体的な動きとしてきており、確実にこの事業が拡がりをみせている。

## Asia Content & Entertainment Fair (ACE Fair) での広報活動

韓国光州広域市で 9 月 21 日から 24 日実施の、オールジャンルコンテンツイベント Asia Content&Entertainment Industry Fair (ACE FAIR) 事務局の招聘により、VIPO の周知および日韓相互のコンテンツ業界の理解促進のため、各種活動を実施。松谷孝征理事長がフォーラムにて講演、また、日中韓アニメ関係者による座談会を実施（VIPO HP に掲載）、ACE FAIR の国際共同ブースにて、VIPO パンフレットを配布するなど広報活動を展開した。

「ACE Trend Forum」における松谷孝征理事長講演の模様

## 韓国コンテンツ振興団体光州情報・文化産業振興院（GITCT）と業務提携

VIPO と韓国コンテンツ振興団体･財団法人光州情報・文化産業振興院（GITCT）は、日韓のアニメーション・音楽・ゲームなどの映像コンテンツ産業の振興および相互の協力強化を目的として、9 月 22 日、金大中コンベンションセンター（韓国光州広域市西区）において、業務提携覚書締結を調印。両国体は日韓両国の映像コンテンツ産業の様々な分野での交流の活性化を目指し、情報交換、調査等、日韓の友好的な環境の整備等を行っていく。

GITCT 姜王基（Kang,Wang-Ki）院長および松谷孝征理事長

# 京 都

## コンテンツ産業都市・京都発信事業

6 月 30 日～ 7 月 3 日にフランス・パリで開催された「JAPAN EXPO2011」に京都市ブースを出展した。ブースではマンガ 300 冊を展示して京都マンガミュージアムのようにマンガの試読ができるブース展示を行った。フランスのクリエーターと日本のプロデューサーの対談、伝統と文化のまち京都の名所案内、在京都フランス領事館からフランスの方たちへのメッセージ、CG アニカップの記録映像等の映像をブース内に設置したモニターとブース以外の会場のさまざまなイベントで上映、またこの伝統と文化のまち京都の名所案内の映像はフランスの 650 万世帯が視聴するケーブルテレビでも放送された。さらに、京都市についてのアンケート実施、KYOTO CMEX や京都国際マンガミュージアム、京都市のパンフレット、チラシ配布等を行った。また、JAPAN EXPO2011 のコンファレンス会場で京都の名所案内をした出演者のフランス人クリエーターと日本人歌手による京都の魅力を伝えるトークイベントも行った。10 月には、フランス・パリの秋を彩る新しい芸術祭「ニュイ・ブランシュ（白夜祭）」に合わせ、京都市内で開催された「ニュイ・ブランシュ KYOTO 2011」というイベントの一つで、京都国際マンガミュージアムに「プロジェクション・マッピング」という手法で同建物の壁面に映像作品を上映する「マチデコインターナショナル」に、フランス在住のクリエーターであるジュリアン・レヴィ氏を招聘して映像を制作し上映及びステージ挨拶を行った。

## 京都映画・映像企画市

映画･映像作品の企画に関わる若手映画製作者（監督、プロデューサー等）を対象に「時代劇を中心とした歴史作品」の企画を募集し、業界の第一線で活躍する監督やプロデューサーなどが応募企画を評価する企画ワークショップを開催。2011 年 11 月 27 日に行われたプレゼンテーション審査では、書類選考を通過した 9 企画の中から『EDO OF THE DEAD』（山本清史氏／脚本家・映画監督）および『連続テレビドラマ幕末単身赴任』（前原康貴氏／㈱松竹撮影所）の 2 企画が優秀賞に選出された。2012 年 1 月から 3 月にかけて、これら 2 企画のパイロット版映像が作成され、2012 年 3 月 17 日に行われた上映会で注目を集めた。

## 京都太秦クリエーター支援拠点 (UZU)

映画・映像産業の振興の一環として、京都太秦地域内でクリエーターの人材育成、サポート等を実施。本事業では、インキュベーション支援のため、コンテンツ関係者のネットワークづくりを行うことを主な目的としており、事務所内に多目的スペースを設置。また 2011 年度は、映画・映像分野におけるクロスメディア・グローバル時代に対応した高度産業人材の育成を推進していくことを目的とした「高度産業人材育成講座」、クロスメディア展開を展望している映画・アニメ・ゲームなど各映像業界の方を対象とした座談会「UZU セミナー」など計 12 回の講座･セミナーを開催した。

高度産業人材育成講座

UZU セミナー

## VIPO 京都フィルムコミッション推進事業

京都にある 2 つの撮影所をはじめ、京都の多様な映像資源を活用した映画・映像制作誘致を促進することを目的とし、PR 冊子・WEB サイトの活用ならびに国内外の映画祭・フィルムマーケット等への参加を通じて情報の収集・発信を行っている。2011 年度は海外向けの招聘事業として、シンガポール、マレーシアおよびフランスへ出張し、作品紹介と市場調査を行い、各映画祭とのコラボレーションに関して模索した。

## 平成 23 年度総会・理事会・幹事理事会

**総　　会**

| | |
|---|---|
| 総会 | 2011 年 6 月 27 日 |

**理 事 会**

| | |
|---|---|
| 第 16 回理事会 | 2011 年 4 月 5 日 |
| 第 17 回理事会 | 2011 年 6 月 14 日 |
| 第 18 回理事会 | 2011 年 6 月 27 日 |
| 第 19 回理事会 | 2011 年 11 月 28 日 |

**幹事理事会**

| | |
|---|---|
| 第 16 回幹事理事会 | 2011 年 4 月 5 日 |
| 第 17 回幹事理事会 | 2011 年 6 月 27 日 |
| 第 18 回幹事理事会 | 2011 年 11 月 28 日 |

## 平成 23 年度政策検討委員会

### 税務・会計分科会

2011 年 4 月～ 6 月は、製作委員会に係る金商法改正（内閣府令改正による製作委員会方式の金商法対象からの除外）への対応として、経済産業省メディアコンテンツ課とともに、業界の要望を金融庁に伝えた。7 月以降は、今年度の課題として国際会計基準のコンテンツ産業に対する影響の検討を行うため、海外コンテンツ企業の決算を具体的にＩＦＲＳと米国会計基準の比較を交えて研究し、その報告書をまとめた。

### ビジネスインキュベーション分科会

全国の高等教育機関で実施できる「映像ビジネスプロデューサー育成プログラム」開発の具体的な検討を行った。今年度でプログラム原案が完成し、2012 年 5 月から青山学院大学で実験授業（ワークショップ）を実施する。

## VIPO 会員社（五十音順）

**【法人会員】**

株式会社秋田放送
株式会社アサツーディ・ケイ
アメリカン・モーション・ピクチャー・アソシエーション・オブ・ジャパン
伊藤忠商事株式会社
株式会社 IMAGICA
一般社団法人映画産業団体連合会
映画専門大学院大学
一般社団法人衛星放送協会
公益社団法人映像文化製作者連盟
エイベックス・エンタテインメント株式会社
株式会社エスピーオー
株式会社 NHK エンタープライズ
大蔵映画株式会社
一般社団法人外国映画輸入配給協会
株式会社角川書店
株式会社カプコン
株式会社キネマ旬報社
株式会社木下工務店
ギャガ株式会社
キヤノン株式会社
キングレコード株式会社
株式会社クオラス
株式会社クリーク・アンド・リバー社
コーエーテクモホールディングス株式会社
コダック株式会社
駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部
一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会
埼玉県彩の国ビジュアルプラザ
松竹株式会社
株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
住友商事株式会社
セガサミーホールディングス株式会社
全国興行生活衛生同業組合連合会
社団法人全日本テレビ番組製作社連盟
ソニー PCL 株式会社
株式会社第一興商
株式会社第一通信社
高津装飾美術株式会社
株式会社タカラトミー
株式会社ティーワイリミテッド
株式会社テイチクエンタテインメント
株式会社デジタル SKIP ステーション
株式会社手塚プロダクション
株式会社テレビ朝日
テレビ大阪株式会社
株式会社テレビ東京
株式会社電通
東映株式会社
東映アニメーション株式会社
株式会社 TBS テレビ
東宝株式会社
東宝東和株式会社
株式会社東北新社
株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ
株式会社ドリーミュージック
中日本興業株式会社
名古屋テレビ放送株式会社
日活株式会社
株式会社日経 BP
協同組合日本映画製作者協会
一般社団法人日本映画製作者連盟
一般社団法人日本映画テレビ技術協会
一般社団法人日本映像ソフト協会
日本コロムビア株式会社
日本テレビ放送網株式会社
一般社団法人日本動画協会
一般社団法人日本民間放送連盟
一般社団法人日本レコード協会
株式会社博報堂
株式会社パップ
ぴあ株式会社
株式会社フォーライフミュージックエンタテイメント
株式会社フジテレビジョン
富士フイルム株式会社
ブロードメディア・スタジオ株式会社
ホクエツ印刷株式会社
株式会社ポニーキャニオン
株式会社ホリプロ
三菱商事株式会社
武蔵野興業株式会社
ユニバーサル ミュージック合同会社
吉本興業株式会社
琉球放送株式会社
株式会社ワーナーミュージック・ジャパン
株式会社 WOWOW

**【賛助会員】**

ウシオ電機株式会社
片倉工業株式会社
株式会社きんでん東京本社
スカパー JSAT 株式会社
ソニー株式会社
高砂熱学工業株式会社
株式会社東芝
トヨタ自動車株式会社
日本電信電話株式会社
パナソニック株式会社
株式会社みずほコーポレート銀行
三井不動産株式会社
森ビル株式会社

※個人会員制度有
※2012 年 4 月 1 日現在

**来年度に向けて**

来年度も 2011 年度に引き続き、映像文化産業における人材育成事業、市場開拓事業を推進する所存であります。また、今年度取り組みました、こども達に映像をより楽しんでもらい、親しみを感じてもらうような事業に力を入れていきたいと思っております。従来にも増して皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。